

添付資料3 諸室リスト(諸元表)

諸室名 (想定面積・ 程度)	要求水準	建築備品	電気備品	機械備品
風除室(1) (4.86 m ²)	・出入口は引き戸とすること。		・インターホン (カラーモニター)	
風除室(2) (4.86 m ²)	・出入口は引き戸とすること。			
廊下 (80 m ²)	・床面は防水加工・滑り難い材料とすること。 ・効率的な動線、有効スペースを確保するため、 最小限の面積とする。			
事務室 (76.0 m ²)	・待機室と通信室を兼ね備え、一般事務室の機能 のほか、会議室的機能や災害出場に配慮した機能 とすること。 ・消防情報支援システム装置、防災無線装置、放 送機器、監視モニター等、通信に係る装置を設 置し、受付業務も兼任すること。 ・むつ市防災行政無線の放送設備設置スペースを 確保すること。 ・来庁者の相談及び各種届け出処理などのコーナ ーを設けること。 ・机など自由なレイアウトが容易に行えるよう、床 はOAフロアとすること。 ・打合せスペース、書庫棚、応接スペースを設ける こと。 ・壁などにキャビネットを設置できるようにするこ と。	・パーテーショ ン (移動可能)	・出勤報知操作盤 ・業務放送 ・インターホン設備 (モニター付) ・気象観測のモニタ ー設備 ・消防無線装置 (移設) ・指令モニター	・エアコン ・FFストーブ
書庫 (15.2 m ²)	・書庫: 保存文書及び査察台帳等を保管し、湿気 対策も考慮すること。	・移動式書棚		
食堂 (13.5 m ²) ・ 休憩室 (9.9 m ²)	・床、壁の汚れを容易に落とせる仕上材とするこ と。 ・専用の手洗いを設けること。 ・休憩室は小上がりとし、フローリングとすること。 ・事務室と隣接させること。			・エアコン ・FFストーブ
厨房 (10.0 m ²)	・床、壁の汚れを容易に落とせる仕上材とするこ と。 ・食堂と隣接させること。 ・食堂と一体化した対面式とする。		・業務用冷蔵庫	・厨房セット ・エアコン ・ガス調理器具
備蓄倉庫 (18.0 m ²)	・非常用の食料、飲料及び資材を備蓄できるよう にすること。 ・備蓄品を収納するための高さ調整が可能な棚を 設けること。	・棚		

諸室名 (想定面積・ 程度)	要求水準	建築備品	電気備品	機械備品
男子仮眠室 (56.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・個室タイプ(8室)とすること。 ・床は歩行騒音が少ない材質とすること。 ・外部からの騒音及び夜間採光を遮断できるようにすること。 ・ベッドは共用とし、寝具収納棚は寝具が3組収納できるようにすること。 			・エアコン
男子更衣室 (10.5 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・男子職員全員分のロッカーを設置すること。 			
女子仮眠室 (15.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・個室タイプ(1室)とすること。 ・床は歩行騒音が少ない材質とすること。 ・外部からの騒音及び夜間採光を遮断できるようにすること。 ・ベッドは共用とし、下には2名分対応の収納スペースを設けること。 ・洗面所、洗濯スペース及びユニットシャワーを設けること。 ・女子トイレに隣接する箇所に設けること。 ・ドアは施錠可能(オートロック式)とすること。 ・男子仮眠室とは離れた位置に配置すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカー ・掃除用具入れ 		<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン ・洗面 ・洗濯 ・シャワー ・SK:1台 ・給湯機
男子 WC (12.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員専用が原則だが、来客等にも考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除用具入れ 		<ul style="list-style-type: none"> ・小便器:2台 ・大便器:2台 (自動洗浄機能付き) ・手洗い:2台 ・SK:1台
女子 WC (6.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員専用が原則だが、来客等も考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除用具入れ 		<ul style="list-style-type: none"> ・大便器:1台 (自動洗浄機能付き) ・手洗い:1台 ・SK:1台

諸室名 (想定面積・ 程度)	要求水準	建築備品	電気備品	機械備品
多目的 WC (6.5 m ²)	・来客の使用を考慮する。	・掃除用具入れ	・呼出用押しボタン	・車いす専用 大便器:1台 (自動洗浄機能付き) ・手摺 ・オストメイト 専用手洗 ・手洗い ・SK:1台
洗面・洗濯・ シャワー室 (20.2 m ²)	・脱衣室に棚を設けること。 ・ユニットシャワーは2台が同時に使用できる給湯量とすること。 ・脱衣場所は2名が個別に窮屈でなく脱衣できるスペースとすること。 ・洗面所はシャワーヘッド式の蛇口とすること。 ・洗面台は洗顔、洗髪時にお湯が飛散しにくいよう、十分な深さとすること。 ・洗面用具が収納できる収納棚を設置すること。 ・洗濯室スペースに洗濯機を最低1台設けること。 ・車庫から直接往来できるものとすること。	・脱衣棚 ・収納棚 ・隊員個別の 収納棚 川内分署 :21個 脇野沢分署 :17個		・洗面:3カ所 ・洗濯:1カ所 ・シャワーユニット:2ヶ所 ・給湯機
出動準備室 (ロッカー 室) (21.0 m ²)	・防火衣装着や災害出場時の準備のスペースとすること。 ・防火衣収納ロッカーの下部には、一人当たり長靴が2足以上収納できる靴箱、上部には個人装備を収納できる棚を設けること。 ・仮眠室から出動準備室までの動線を可能な限り短縮させること。出動準備室から車庫へは直接出入りできること。 ・庁舎内どこにいても、スムーズに出動準備室から出動車両となる動線を確保する。 ・職員が更衣する十分なスペースを確保すること。 ・車庫から直接アクセスできる箇所に設けること。	・防火衣収納 ロッカー (回転式) 川内分署 :21名分 脇野沢分署 :17名分 ・収納棚	・指令端末装置 ・指令モニター	
消防団 待機室 (25.0 m ²)	・職員の会議室としても使用できるようにすること。			・エアコン

諸室名 (想定面積・ 程度)	要求水準	建築備品	電気備品	機械備品
多目的室 (20.5 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室、研修室と使用できるようにするとともに、屋内の訓練室としても使用できるようにすること。 ・訓練等から発生する騒音対策をすること。 		<ul style="list-style-type: none"> ・会議用映像設備 ・音響設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン
収 納 庫 (10.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室に隣接し、長机、椅子並びに体力練成器具の収納できるようにすること。 ・長机・椅子と体力練成器具の出し入れが容易にできるスペースを確保すること。 			
車 庫 (124.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害出場が安全かつ容易にできるとともに、消防車両を使用した訓練ができるよう建物前面に空地スペースを設けること。 ・消防車両上部で作業できる高さを確保すること。 ・シャッター又はオーバースライダーは寒冷地対策及び緊急出動を考慮した高速開放タイプの電動式(消防法令上有効開口部として算定できる仕様)とすること。 ・救急車の収容場所は専用区画とし、救急消毒室、救急用具室へ直接出入りできるようにすること。 ・消防車両の排気ガスを容易に排気できるとともに、メンテナンスが容易な車庫全体の給排気システムとすること。 ・洗車が容易にできる給水・温水設備を設けること。 ・床面の構造は消防車両の荷重を考慮すること。 ・給水設備付近に汚れ物用の洗濯機スペースを設けること。 ・車庫内に手洗い場を設けること。 ・ポンプ車車庫から救急車車庫へも直接出入りできるようにすること。 ・車庫上部屋外へ広報用のパネル及び屋外の夜間照明器具を設置すること。 ・消防用ホースが収納可能な保管ラックを設けるとともに、多目的に使える収納棚を設ける。 ・車庫のシャッターは十分な採光が可能なシャッターを設置すること。 ・車庫内の収容車両は、以下のとおりとすること。 ○川内消防分署 計4台 [車庫内車両] 水槽付消防ポンプ自動車 1台 W=2.5m 	<ul style="list-style-type: none"> ・上部部分に収納棚 ・消防用ホース収納保管ラック ・広報用パネル 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間照明 	<ul style="list-style-type: none"> ・排気ガス排出装置 ・洗車用給水・温水 :2カ所 ・排水 ・洗濯機 :1カ所 ・暖房設備 :FFストーブ(車庫内の気温が氷点下にならない程度の能力)

諸室名 (想定面積・ 程度)	要求水準	建築備品	電気備品	機械備品
	小型動力ポンプ付水槽車 1台 W = 2.5m 救急車 1台 W = 2.0m 搬送車 1台 W = 2.0m ○脇野沢消防分署 計4台 [車庫内車両] 水槽付消防ポンプ自動車 1台 W = 2.5m 救急車 1台 W = 2.0m 資機材搬送車 1台 W = 2.0m 消防ポンプ自動車 1台 W = 2.0m			
乾燥室 (10.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・防火衣、ウエットスーツ等、着装品を乾燥できるようにすること。 ・乾燥させる物品を置く棚を設けること。 ・冬期間及び雨天時にホース等も乾燥できるようにすること。 	・棚		・乾燥設備
油脂庫 (6.6 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防車両、救助器具等に使用する燃料の備蓄庫とすること。 ・車庫からのアクセスが良ければ建物内にこだわらない。 ・消防法令等を遵守した安全な構造とすること。 	・棚		
装備品倉庫 (18.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・車庫に併設させること。 ・棚を設け、消防車両タイヤが収納できるようにすること。 ・各種行事の啓発看板の収納スペースも確保すること。 ・収容物を容易に出し入れし、かつ、作業できるスペースを確保すること。 ・大型の収納物のために、開口部を広くすること。 	・棚		
物品庫・ 機器整備室 (17.5 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動用資機材、予備空気ポンベの保管、機械整備を行えるスペース、整備のための工具を収納するスペースを確保すること。 ・車庫から直接出入り可能な動線を確保すること。 	・棚		
救急消毒室 (8.75 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・救急活動において、帰署後、速やかに使用した救急資機材を洗浄でき、感染防止に配慮した配置とすること。 ・入り口ドアの開閉は、非接触の開閉とすること。 ・流し台シンクは2槽式とし、内1槽は消毒剤に器材を浸して消毒できるようにすること。 ・救急資機材の殺菌灯を設置すること。 ・施錠可能な薬品保管庫を設けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フット式自動ドア ・流し台シンク(薬品対応) ・棚 ・薬品保管庫 	・殺菌灯設備	

諸室名 (想定面積・ 程度)	要求水準	建築備品	電気備品	機械備品
救急用具室 (10.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> 救急資機材を保管する棚を設けること。 救急消毒室に隣接すること。 	・棚		
発電機(室) (10.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> 外部設置タイプでも良い。 省エネルギーでメンテナンスが容易な設備計画とすること。 		・発電機	
電気室 (10.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> 電気室として、キュービクルと発電機との併設ができるように検討する。 外部設置タイプでも良い。 		・キュービクル ・(発電機)	
ゴミ置場 (5.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> 建物内の収集が容易な場所に設置できるか検討する。 ゴミごとに区分して置けるスペースを確保すること。 屋外に設置する場合には、屋根付きとし、職員及びゴミ収集車が利用しやすい位置に設けること。 来庁者の目に付きにくい場所へ設けること。 			
砂置き場 (5.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> 建物の外回りに設置できるか検討する。 屋外に設置する場合には、屋根付きとすること。 雨や雪が浸入しない構造とし、乾燥砂を麻袋に詰め込む作業スペースを確保すること。 			

別棟 消防団車庫棟

諸室名 (想定面積・ 程度)	要求水準	建築備品	電気備品	機械備品
消防団 車庫棟 (川内分署) (96.0 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> 災害出場が安全かつ容易にできるとともに、建物前面に空地スペースを設けること。 消防車両の排気ガスを容易に排気できる換気扇等を設けること。 床面の構造は消防車両の荷重を考慮すること。 車庫上部へ夜間照明器具を設置すること。 屋外に夜間照明器具を設置すること。 消防用ホースが収納可能な保管ラックを設けること。 車庫内の収容車両は、以下のとおりとする。 [車庫内車両] 消防ポンプ自動車 2台 W=2.0m 指令車 1台 W=2.0m シャッター又はオーバースライダーは寒冷地対策とすること。 			<ul style="list-style-type: none"> 消防用ホース 収納保管ラック 夜間照明器具

床面積の算出は全国消防長会資料「消防庁舎の標準仕様について」を参考に算出した。